



電気科学館の「透明人間の部屋」製作仕様書

資料登録番号
1994-0870

みなさんは、当館の前身・大阪市立電気科学館に、「透明人間の部屋」という展示があったことをご存じでしょうか。筆者は幼少の頃、電気科学館へ親に連れていってもらい、プラネタリウムを何度も楽しめましたし、展示の中では何より「透明人間の部屋」が強烈に印象に残っていて、大好きな展示でした。

この「透明人間の部屋」は、1974(昭和49)年の第5次展示改装にて登場した展示です。リレーやモーターを組合せ、自動でテレビをつけたり消したり、電話の受話器を上げ下げしたりして、あたかも透明人間がそこで生活しているように見え、大変人気の展示でした。ただ当時の写真や簡単な紹介文程度の記録はあっても、詳細が分かるものがなく、筆者自身も記憶があいまいだったため、どのような展示だったかを具体的に知ることができていませんでした。

ところが…！先日館の資料を整理していたところ、「電気館展示改装関係」と記されたファイルを発見。もしや…、と思い中身の一つずつ確認したところ、何と！「透明人間の部屋」製作仕様書なるものが入っていたのです！まさに筆者が知りたかった、ストーリー（構成）や家電の動作、プログラムなどの詳細が記されていたのです！とてもここには書ききれませんので、また改めて「透明人間の部屋」についてまとめて記事を書きたいと思います。なお、もし「透明人間の部屋」の思い出や写真などを残されている方がおられましたら、ぜひご一報ください。



写真1.「透明人間の部屋」に見入る人々

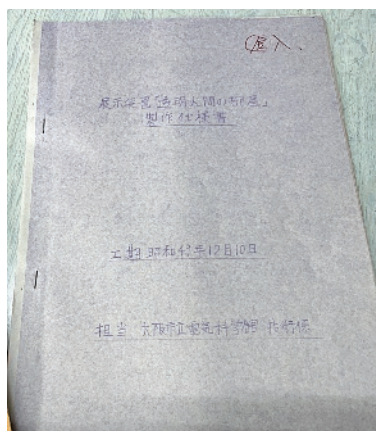


写真2. 発見された
「透明人間の部屋」製作仕様書

西野 藍子(科学館学芸員)